

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	「ハマの元気ごはん提供店」登録制度を活用した食環境づくりの推進の取組の提案
提案の募集対象 (テーマに関連する事業等の概要)	<p>事業名 ハマの元気ごはん提供店登録制度</p> <p>概要 外食や市販のお弁当等を利用する市民が、より健康になるために、栄養バランスのよい1食の栄養価の基準を満たした食事(セットメニューや弁当)を提供する店舗を登録する制度です。</p> <p>ハマの元気ごはん提供店登録制度に登録した横浜市内の食品関連事業者(スーパーマーケット、弁当・総菜店、コンビニエンスストア、飲食店、特定給食施設)のことを「ハマの元気ごはん提供店」といいます。</p> <p>提供店舗が増加するほど、市民が栄養バランスのよい食事を選択する機会が増加し、市民の食生活が健康的になることを目指すという取組趣旨に賛同し、取組を進める食品関連事業者を募集します。</p>
提案を募集する背景・課題	<p>横浜市の健康増進計画「第2期健康横浜21」及び第2期食育推進計画最終評価の結果では、栄養バランスよく食べる人の割合は、策定時の41.3%から34.3%に減少しています。</p> <p>また、横浜市特有の健康課題として、以下の2つがあります。</p> <p>①脂質異常症(LDLコレステロール値)が男女とも高いこと</p> <p>②男性の肥満者の割合が女性に比べて多く、特に40歳代から50歳代の男性で多くなっていること</p> <p>これらの健康課題を解決するためには、食生活の改善(特に男性の食生活の改善)が必要です。また、健康に関心の薄い人も含め、誰もが自然に栄養バランスのよい食事をするためには、栄養バランスのよい食事をお店で選べる環境づくりに力を入れる必要があります。</p>
課題によって ①誰が ②どう困るのか	<p>①市民</p> <p>②生活習慣病等になるリスクが上がり、健康上の問題で日常生活に制限が発生します。</p>
課題に対して横浜市が現在どう関わっているのか	<p>個人の生活が多様化し外食や中食が一般化する中、誰もが自然に栄養バランスのよい食事をするためには、市民の健康への意識を醸成するとともに、栄養バランスのよい食事をお店で選べる環境づくりに力を入れる必要があります。</p> <p>そのため、令和6年10月から、栄養バランスのよい1食の栄養価の基準を策定し、基準を満たした食事(セットメニューや弁当)を提供する店舗を登録する制度を開始し、募集を行っています。</p> <p>登録した店舗や食事内容が市民にわかりやすいよう、ホームページやインスタグラムで周知しています。</p> <p>▼ハマの元気ごはん提供店登録制度(横浜市HP)</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/kenkozukuri/kankyodukuri/hamanogenkigohan.html</p>
募集対象 ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	<p>■ 公民連携の提案及び連携事業者の募集 ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。</p> <p>□ 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。</p>

